

会社名	株式会社旅籠屋	上場取引所等	GR
コード番号	4807	本社所在都道府県	東京都
代表者	代表取締役社長 甲斐 真		
問い合わせ先	責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真	TEL (03) 3847-8858	

## 1. 平成 19 年 6 月期 第 3 四半期の業績（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。  
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。  
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年第 3 四半期	309	(37.8)	32	(365.9)	31	(573.4)
18 年第 3 四半期	224	(14.1)	7	(△49.9)	4	(△49.9)

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
19 年第 3 四半期	29 (1104.3)	4,712 98	4,160 67	10.9	7.7	10.2
18 年第 3 四半期	2 (△71.5)	435 03	381 71	1.6	1.2	2.1

- (注) 1. 期中平均株式数 19 年 3 月期 6,245 株 18 年 3 月期 5,620 株  
 2. 会計処理の方法の変更 無  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年第 3 四半期	413	285	69.1	45,658 60
18 年第 3 四半期	370	156	42.3	27,900 85

- (注) 期末発行済株式数 18 年 12 月期 6,245 株 17 年 12 月期 5,620 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年第 3 四半期	47	△21	△29	48
18 年第 3 四半期	12	58	△61	28

## 2. 平成 19 年 6 月期の業績予想（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
	百万円	百万円	百万円					
通 期	395	16	12	—	—	—	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 1,921 円 54 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上

# 第 13 期

## 第 3 四半期報告書

(平成 18 年 10 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)



平成 19 年 5 月 11 日

### 株式会社 旅籠屋

---

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

---

# I 当期の業績

## (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H18.1.1~ H18.3.31	第4四半期 H18.4.1~ H18.6.30	第1四半期 H18.7.1~ H18.9.30	第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	累計 H18.7.1~ H19.3.31		累計 H17.7.1~ H18.3.31
I 営業収益	売上高	65,802	89,666	128,694	89,875	91,225	309,796	+37.8%	224,865
II 営業費用	売上原価	62,548	75,496	77,899	77,769	79,719	235,388	+31.3%	179,284
	(注1)販売費及び一般管理費	13,514	13,330	12,685	14,301	14,463	41,451	+7.6%	38,506
	営業利益または営業損失(▲)	▲10,260	839	38,109	▲2,195	▲2,957	32,956	+365.9%	7,074
III 営業外収益		33	41	57	28	64	149	▲15.3%	176
IV 営業外費用		714	817	518	506	455	1,480	▲42.0%	2,553
	経常利益または経常損失(▲)	▲10,941	62	37,648	▲2,674	▲3,348	31,625	+573.4%	4,696
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	210
	税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲10,941	62	37,648	▲2,674	▲3,348	31,625	+605.0%	4,486
	法人税、住民税	680	876	730	730	730	2,192	+7.4%	2,041
	四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲11,622	▲813	36,917	▲3,405	▲4,079	29,432	+1104.3%	2,444
	前四半期(前期)繰越損失(▲)	▲131,774	—	—	—	—	—	(—)	▲145,842
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲143,397	—	—	—	—	—	(—)	▲143,397
	期中平均株式数	5,620 株	6,203 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	+11.1%	5,620 株
	1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲2,068 円	▲131 円	5,911 円	▲545 円	▲653 円	4,713 円	+4,278 円	435 円
	(注2)潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	—	—	5,191 円	—	—	4,160 円	+3,778 円	382 円

(注1) 第1・第2四半期報告書においては「千葉勝浦店」「軽井沢店」「須賀川店」の費用を含んでいましたが、売上原価に振替えております。

(注2) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

## (2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	
		第3四半期末 H18.3.31	第4四半期末 H18.6.30	第1四半期末 H18.9.30	第2四半期末 H18.12.31	第3四半期末 H19.3.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	28,105	53,120	75,390	61,536	48,911
		その他	33,176	14,221	13,604	12,376	18,231
		流動資産合計	61,282	67,341	88,995	73,912	67,143
	II 固定資産	有形固定資産	271,912	271,512	269,408	269,876	267,414
		無形固定資産	2,806	2,576	2,461	2,346	2,431
		投資その他の資産	34,852	67,252	69,647	71,733	76,520
	固定資産合計	309,572	341,341	341,517	343,956	346,367	
	資産合計	370,854	408,683	430,513	417,869	413,511	
(負債の部)	I 流動負債	66,453	55,343	52,832	41,230	44,389	
	II 固定負債	147,598	97,635	84,558	86,921	83,484	
	負債合計	214,051	152,978	137,390	128,151	127,873	
(資本の部)	I 資本金	281,000	—	—	—	—	
	II 資本剰余金	19,200	—	—	—	—	
	III 利益剰余金	—	—	—	—	—	
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲143,397	—	—	—	—	
	資本合計	156,802	—	—	—	—	
	負債・資本合計	370,854	—	—	—	—	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	—	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金	—	68,916	68,916	68,916	68,916
		利益剰余金	—	▲144,210	▲107,293	▲110,698	▲114,778
		株主資本合計	—	255,705	292,622	289,217	285,137
	II 新株予約権	新株引受権	—	500	500	500	500
		純資産合計	—	256,205	293,122	289,717	285,637
	負債・純資産合計	—	408,683	430,513	417,869	413,511	
	発行済株式総数	5,620 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	27,900 円	40,945 円	46,857 円	46,312 円	45,658 円	

**(3) 株主資本等変動計算書** (平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
		資本準備金	その他利益剰余金			
平成 18 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲144,210	255,705	500	256,205
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+36,917	+36,917		
第 1 四半期中の変動額の合計			+36,917	+36,917		
平成 18 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	▲107,293	292,622	500	293,122
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			▲3,405	▲3,405		
第 2 四半期中の変動額の合計			▲3,405	▲3,405		
平成 18 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	▲110,698	289,217	500	289,717
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益			▲4,079	▲4,079		
第 3 四半期中の変動額の合計			▲4,079	▲4,079		
平成 19 年 3 月 31 日残高	331,000	68,916	▲114,778	▲114,778	500	285,637

**(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (5) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

**(5) 重要な会計方針**

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。  
建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年
- (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。
- (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。

2. リース取引の処理方法

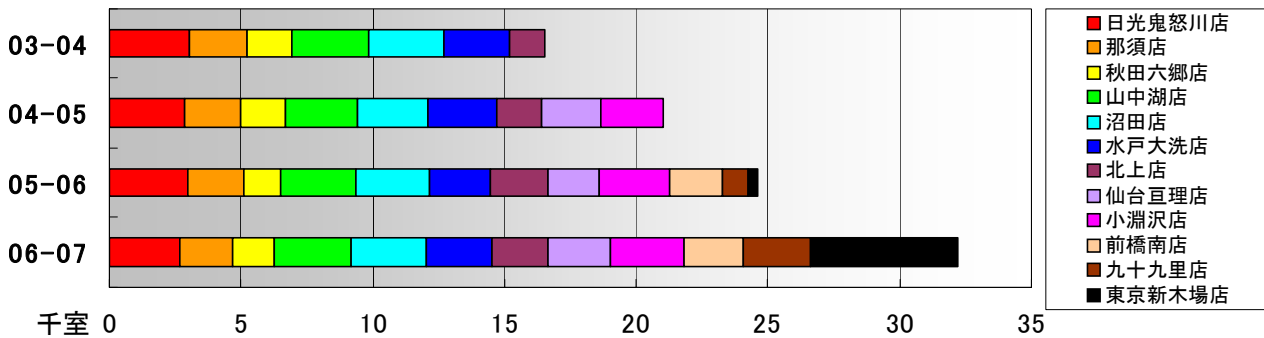
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

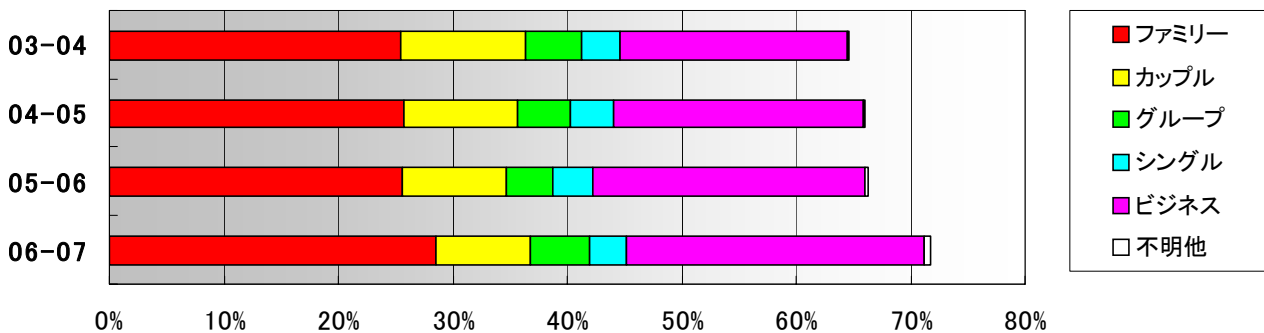
## Ⅱ 第13期第3四半期（平成18年7月1日～平成19年3月31日）の業績の概況

### 利用客室数(全店合計、店舗別内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年3月31日）



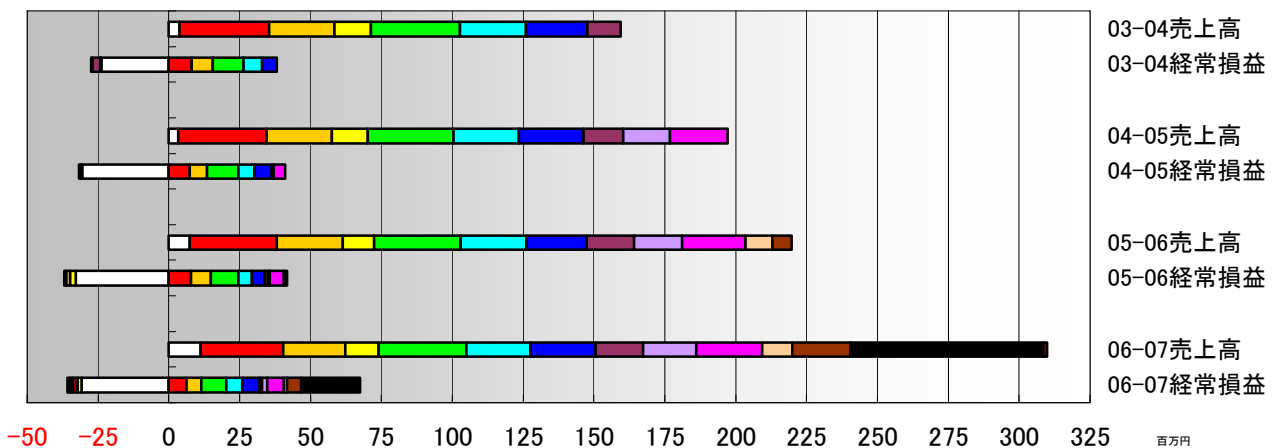
- ・前年同期に比べ、日光鬼怒川店と那須店が減少したものの、秋田六郷店・水戸大洗店・仙台亘理店・小淵沢店・前橋南店がいずれも増加したため、既存店全体としては微増となりました。
- ・九十九里店と東京新木場店は期中オープンのため、前期と比較できませんが、きわめて好調です。

### 客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年3月31日）



- ・客室稼働率は、前年同期に比べ大きくアップし、70%を超えました（66.2→71.7%）。
- ・ファミリー客とビジネス客が増加し、カップルは減少傾向です。

### 売上高・経常損益(全社合計、部門別内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年3月31日）



- ・既存店の売上が若干増加していることに加え、新規店舗（九十九里店、東京新木場店）が好調のため、売上高は順調に増加しています（+37.8%）。
- ・東京新木場店が大きな経常黒字を計上しており、全体の増益に大きく貢献しています。

## 部門別内訳

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H18.1.1~ H18.3.31	第4四半期 H18.4.1~ H18.6.30	第1四半期 H18.7.1~ H18.9.30	第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	累計 H18.7.1~ H19.3.31		前年度 累計 H17.7.1~ H18.3.31
本社(注1)	売上高	350	8,157	2,981	2,634	5,565	11,181	+53.2%	7,296
	経常損益	▲13,593	▲5,697	▲9,929	▲11,933	▲9,022	▲32,857	—	▲32,870
日光鬼怒川店	売上高	8,176	6,996	13,730	8,392	7,067	29,190	▲5.5%	30,883
	経常損益	1,073	90	5,562	708	79	6,350	▲19.8%	7,914
	客室稼働率	56.9%	44.2%	60.8%	52.2%	42.5%	51.9%	▲5.5p	57.4%
那須店	売上高	5,490	6,217	11,209	5,437	5,237	21,884	▲5.5%	23,138
	経常損益	573	895	5,168	100	▲69	5,198	▲25.0%	6,926
	客室稼働率	46.9%	57.3%	79.8%	55.3%	47.1%	60.8%	▲3.2p	64.0%
秋田六郷店	売上高	2,166	4,608	6,160	3,307	2,361	11,829	+7.0%	11,054
	経常損益	▲2,033	▲320	1,301	▲1,399	▲1,112	▲1,209	—	▲2,041
	客室稼働率	30.0%	58.5%	62.5%	45.8%	34.4%	47.7%	+4.8p	42.9%
山中湖店	売上高	7,954	8,396	13,875	8,494	8,478	30,847	+0.7%	30,618
	経常損益	1,546	1,985	6,091	1,830	847	8,769	▲3.5%	9,760
	客室稼働率	64.3%	76.8%	86.4%	70.8%	68.3%	75.2%	+0.5p	74.7%
沼田店	売上高	7,684	6,243	8,063	6,890	7,785	22,738	▲1.7%	23,132
	経常損益	1,260	850	2,481	1,139	1,911	5,532	+19.9%	4,612
	客室稼働率	91.9%	81.3%	82.7%	84.5%	93.7%	86.9%	+2.0p	84.9%
水戸大洗店	売上高	5,891	6,557	10,252	6,742	6,036	23,031	+8.3%	21,266
	経常損益	378	1,358	4,390	1,135	558	6,084	+32.5%	4,593
	客室稼働率	67.4%	76.5%	82.3%	80.1%	68.2%	76.9%	+6.3p	70.6%
北上店	売上高	4,248	5,746	7,309	4,987	4,248	16,545	▲1.9%	16,864
	経常損益	▲637	362	2,084	▲645	▲396	1,043	▲9.2%	1,149
	客室稼働率	54.0%	74.4%	72.1%	67.2%	53.9%	64.5%	▲0.8p	65.3%
仙台亘理店	売上高	4,167	5,651	7,959	5,481	5,354	18,795	+11.3%	16,880
	経常損益	▲1,098	165	2,382	▲422	▲142	1,816	+158.0%	704
	客室稼働率	50.6%	68.9%	73.6%	69.1%	71.9%	71.6%	+11.4p	60.2%
小淵沢店	売上高	6,158	6,222	9,972	6,586	6,813	23,372	+5.0%	22,257
	経常損益	598	726	4,145	740	921	5,806	+16.5%	4,982
	客室稼働率	78.7%	76.4%	86.2%	83.1%	88.1%	85.8%	+5.1p	80.7%
前橋南店	売上高(運営受託料)	3,009	2,550	3,695	3,601	3,278	10,575	+11.9%	9,454
	経常損益	▲310	▲381	816	308	▲75	1,049	—	▲1,296
	客室稼働率	69.2%	58.8%	58.9%	72.4%	71.6%	67.6%	+6.8p	60.8%
九十九里店	売上高	5,356	5,243	8,720	5,653	6,081	20,456	—	6,869
	経常損益	68	356	3,565	474	884	4,924	—	▲756
	客室稼働率	76.6%	67.4%	73.6%	77.6%	83.1%	78.1%	—	68.6%
東京新木場店	売上高	5,148	17,076	24,765	21,667	21,566	67,999	—	5,148
	経常損益	1,233	▲331	9,606	5,549	5,761	20,917	—	1,017
	客室稼働率	97.2%	75.2%	89.1%	88.3%	88.6%	88.6%	—	97.2%
千葉勝浦店	売上高	—	—	—	—	1,351	1,351	—	—
	経常損益	—	—	—	▲93	▲1,739	▲1,833	—	—
	客室稼働率	—	—	—	—	73.5%	73.5%	—	—
軽井沢店	経常損益	—	—	▲19	▲83	▲872	▲975	—	—
須賀川店	経常損益	—	—	—	▲84	▲880	▲964	—	—
全社合計	売上高	65,802	89,666	128,694	89,875	91,225	309,796	+37.8%	224,865
	経常損益	▲10,941	62	37,648	▲2,674	▲3,348	31,625	+573.4%	4,696
	客室稼働率	63.2%	67.5%	76.1%	70.9%	68.0%	71.7%	+5.5p	66.2%

(注1) 前期まで本社に含めていた開業前店舗の損益を今期より別個の表記としたため、第1・第2四半期の損益額が変更されております。

- ・ **本社**は、新規出店契約の増加により企画調整費売上げが増えたため、前年同期に比べ売上が大幅に増加(+53.2%)、費用が増加(38,506千円→43,204千円)したものの、経常損失はほぼ同額(▲32,870→▲32,857千円)となりました。
- ・ **沼田店**、**小淵沢店**、**東京新木場店**の客室稼働率は85%を超え、きわめて好調で、全体の稼働率アップに寄与しています。
- ・ **日光鬼怒川店**と**那須店**は、客室稼働率が大きくダウンし、売上高も減少(いずれも▲5.5%)しています。そのため、経常利益も20%前後減少しましたが、絶対額では5,000千円を超えており、安定して黒字を計上しています。
- ・ 低落傾向が続いていた**秋田六郷店**は、客室稼働率(+4.8p)売上高(+7.0%)ともに持ち直しつつあり、経常損失も圧縮(▲2,041→▲1,209千円)されていますが、黒字転換には更なる業績向上が必要な状況です。
- ・ **山中湖店**は、稼働率と売上高は前年同期に比べ微増でしたが、費用の増加により経常利益は1,000千円ほど減少しました。
- ・ **水戸大洗店**、**仙台亘理店**、**小淵沢店**、**前橋南店**の客室稼働率は、前年同期に比べ5ポイント以上アップし、売上高・経常利益ともに増加しましたが、**北上店**は、稼働率・売上高・経常利益とも、前年同期に比べ微減となりました。
- ・ **沼田店**は、稼働率(+2p)売上高(▲1.7%)はほぼ前年同期並でしたが、経常利益は1,000千円近く増加しました。
- ・ **九十九里店**と**東京新木場店**はオープン後1年余りですが、きわめて順調で、増益に大きく貢献しています。

### Ⅲ 第13期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 通期実績 H17.7.1～ H18.6.30	第13期				
		第1四半期 実績 H18.7.1～9.30	第2四半期 実績 H18.10.1～12.31	第3四半期 実績 H19.1.1～3.31	第4四半期 予想 H19.4.1～6.30	通期予想 H18.7.1～ H19.6.30
売上高	314,531	128,694	89,875	91,225	85,206	395,000
経常損益	4,764	37,648	▲2,674	▲3,348	▲15,626	16,000
当期純損益	1,631	36,917	▲3,405	▲4,079	▲17,433	12,000

前期末における第3四半期予想値(売上高：80,000千円、経常損益：▲7,500千円、当期純損益：▲8,700千円)に対し、実績値はいずれもこれを上回りました。第2四半期に続いて予想値を上回りましたが、7月に「いわき勿来店」「牧之原店」のオープンを控え、出店関連費用の増加が見込まれるため、通期の予想については若干の上方修正にとどめております。

### Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31
現金および預金の増減額	+25,014	+22,270	▲13,854	▲12,625
現金および預金の四半期首残高	28,105	53,120	75,390	61,536
現金および預金の四半期末残高	53,120	75,390	61,536	48,911

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31
短期借入金の増減額	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31
長期借入金の増減額	▲62,717	▲11,385	▲10,964	▲7,134
長期借入金の四半期首残高	199,470	136,753	125,368	114,404
長期借入金の四半期末残高	136,753	125,368	114,404	107,270

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第13期 第3四半期末(平成19年3月31日)時点(千円未満は切り捨てて表示)

38,644千円	… 借上直営店における差入れ保証金(契約満了時返済)
30,000千円	… 「軽井沢店」における建設協力金(10年均等償却)
4,166千円	… 借地直営店における借地権利金(20年均等償却)
2,500千円	… 長期性預金
1,210千円	… 取引信用金庫などへの出資金

## V 今後の事業展開と出店計画について

### 「千葉勝浦店」「軽井沢店」「須賀川店」がオープン

「千葉勝浦店」「軽井沢店」「須賀川店」が予定通り、それぞれ3月15日、4月14日、4月25日にオープンしました。



千葉勝浦店



軽井沢店



須賀川店

### 「いわき勿来店」「牧之原店」のオープン予定日が決定

現在建築工事中の「いわき勿来店」「牧之原店」のオープン予定日が、それぞれ7月14日（土）と7月25日（水）に決まり、すでに予約受付を開始しています。

### その他の出店計画

上記の2店に加え、今秋から来春にかけて複数のオープンがほぼ決まっており、現在最終的な作業を進めているところです。出店が決まり次第、公表いたします。

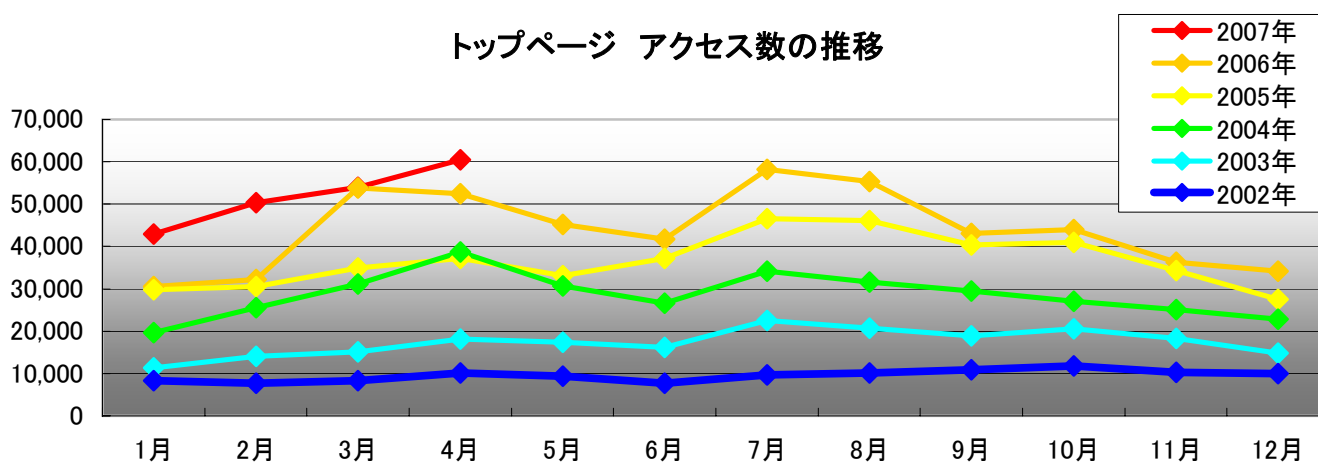
### 社内体制の見直し

店舗数の増加と新規出店ペースの上昇に対応し、引き続き業務内容や職務分掌を整理再構成するとともに、店舗の管理体制を整備強化しているところです。なお、今夏には本社オフィスのスペースを拡大する予定です。

### 広告宣伝の計画

3月下旬に発売された「るるぶ情報版 3世代で行くお泊まり旅行」に1頁広告を掲載しました。

なお、ホームページへのアクセス数の推移は以下のとおりです。



以上